



山本かよこの

山本香代子

にこにこ通信



心のふれあう江東区、あなたのそばに“開かれた区政を”

平成18年 4月号

- 昭和36年3月18日 深川冬木生まれ A型 魚座
- 昭和42年 双葉幼稚園卒園
- 昭和48年 江東区立明治小学校卒業
- 昭和51年 江東区立深川第二中学校卒業
- 昭和54年 都立東高等学校卒業
- 平成11年 区議会議員 初当選
- 地域活動/深川消防団第6分団団員

発行: 山本かよこ事務所 TEL 03-3630-2278 FAX 03-3630-8978
 〒135-0041 東京都江東区冬木21番22号
 ☒ 2525kayoko@mx10.ttcn.ne.jp URL <http://www1.ttcn.ne.jp/~yamakayo>
 江東区議会 新生クラブ 幹事長(無所属) 討議資料



皆さん、こんにちは。江東区議会議員の山本かよこです。春風とともに桜花爛漫うらかな季節となりました。江東区議会におきましては、2月22日から始まりました平成18年第1回区議会定例会も37日間の会期を終了し、3月30日に閉会致しました。今回の定例会では、平成18年度予算審査をはじめとする62件の議案が審議されました。いよいよ4月から、平成18年度の新たなスタートとなります。

平成18年度予算審査特別委員会が開催されました。 □2月28日～3月6日(5日間)

定住意向に答える予算編成へ

区では1年置きに「区政世論調査」を実施し、昨年末に発表致しました結果では、人口43万人突破を背景に、定住意向率が87.8%と極めて高い数値となりました。本区にとって、とても喜ばしいことではありますが、一方で人口急増地域においては、学校や保育園の不足が生じるなど、平成18年度当初予算につきましては、昨年の長期基本計画改定の中で、平成21年における区の将来人口を47万人に修正し、人口急増に伴う新たな行政課題について、計画的に取り組み始めるとともに、区民ニーズに的確に答えるため、ハード・ソフト両面からの子育て支援の充実、防災、安全・安心対策の強化、新設される環境センターを軸とした環境配慮への取り組みなど、一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、2,145億16百万円、前年度比0.4%のプラス予算編成となっています。「住んでみたい」「住み続けたい」「住んでよかった」と誰もが実感でき、快適に暮らせるまちづくりを目指してまいります。

子育て支援の充実

病気の回復期にある子どもの保育を開始

事業経費 1,033万円

江東区初

内容 区内の小児科に事業委託。保育園などに入所している児童を対象

特色

- ・病気が治りかけの「回復期」にある子どもを一時的に預かることで、子育てと保護者の就労を両面から支援
- ・医師の判断により「急性期」(病気の症状があらわれから重くなる期間)にある子どもの保育も可能
- ・無認可保育施設に入所している子どもも対象

場所 だけうちこどもクリニック (豊洲 東京フロントコート・クリニックステーション)

受入開始 平成18年6月1日

子どもが病気やけがで入院しても安心

事業経費 13億5,271万円

内容 子ども医療費の助成対象を中学3年生まで拡大開始予定

- ・中学3年生までの入院費 平成18年4月
- ・小学3年生までの通院医療費 平成19年1月



■ 高齢者支援の充実

特養ホーム・グループホームの建設費助成

内容 特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホームの整備を進めるため、区内で建設を計画する事業者に対し、建設費の一部を助成

＜特別養護老人ホーム＞ 一区内 12カ所目ー
・社会福祉法人 桜栄会 (事業費全体 5億 1,596万円)

場所 東雲2丁目 12-9 **開設予定** 平成 19年 4月
施設内容 特養ホーム(全室個室) 120名、ショートステイ 16名、在宅サービスセンター、在宅介護支援センター、認知症デイホーム 併設

※特養ホーム 入所希望者 2月 28日現在 1,479名 早期入所を図るため、整備を着々と進めています。

＜認知症高齢者グループホーム＞ 一区内 4カ所目ー
・株式会社たんぼぼ (事業費全体 6,856万円)

場所 枝川2丁目 14-2
開設予定 平成 19年 2月
施設内容 2ユニット 18名



■ 安心・安全なまちづくり

23区初!

小・中学校の安全カルテ作成+防犯カメラ設置

ー防犯のプロが学校の安全を詳細点検ー 事業経費 1億 2,763万円

内容 区立全小・中学校の「学校安全カルテ」を作成。警備会社など防犯の専門家が各学校の安全を詳細点検し、学校の実情に合わせた最適な安全対策を「カルテ」にまとめ、「カルテ」の結果をもとに防犯カメラを設置(防犯カメラは、区立全幼稚園も設置)

開始予定

[学校安全カルテ] 各校を個別調査し、年度中に完成
[防犯カメラ] 平成 18年度中



防犯カメラ設置のみならず、オートロックの設置、人的配置など各学校に適した安全対策の充実を求めています。

防災センターオープン [平成 18年 4月]

ー災害対策本部機能が本格稼働ー 事業経費 1億 1,092万円

内容

・訓練の企画・支援・評価を専門機関に委託し、新たな災害情報・通信システムの活用を含めた、より高度な災害対策本部運営訓練(図上シミュレーション訓練)実施

・災害対策資機材の拡充

＜小・中学校の避難所(67か所)＞

[濾水機]全避難所の濾水機を交換

[災害用コンロストーブ]室内で炊き出しと暖房に利用できる兼用型

[仮説トイレ]車椅子の方や女性が安心して使える鍵付きトイレ配備

＜防災倉庫(3か所)＞

[ゴムボート]水害時の情報収集、被害状況調査のため配備

特色 新型地震体験車 配備

本番さながら3方向(3WAY)の揺れをよりリアルに体験できます。

3日分の水・食糧は、
各家庭で備蓄をしておきましょう。

江東区パトカーが深夜のまちをパトロール

ー平成 18年 4月から 2車両運行ー 事業経費 2,103万円

内容

青色回転灯を装備したパトカー(環境・省エネに配慮した低公害庁有車)を活用して、夜間(深夜)の巡回パトロールを実施。パトロールは警備会社に委託し、警察や消防と連携を図りながら犯罪抑止対策を強化

地域との協働

区内では、自主的に防犯パトロールを実施する団体(2月 28日現在 129団体)が登録。区が支給したパトロール用ベストや誘導灯などを活用し、活発な防犯活動が行われています。

